

調査委員会における調査研究報告書

教科名 (国語 (書写))

調査研究の観点	所 見		
	発行者 (東京書籍) 発行者番号 (2)	発行者 (教育出版) 発行者番号 (17)	発行者 (光村図書) 発行者番号 (38)
1 内 容	<p>①第1・2学年では、はじめに、文字を書く姿勢や鉛筆の持ち方を示している。</p> <p>②第3学年では、「毛筆を使って学習しよう」として、「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」「ふり返ろう」「生活に広げよう」となっている。</p> <p>③第4学年では、「生活に広げよう」として、ノートの書き方や社会科の新聞作りなどを示している。</p> <p>④第5学年では、外国語の言葉 (あいさつ) が記載されている。</p> <p>⑤第6学年では、「書写のかぎ」として、6年間の学習のまとめを載せている。</p>	<p>①第1学年では、「はじめのがくしゅう」として、字を書く姿勢や鉛筆の持ち方を示している。</p> <p>②第3学年では、「学習の進め方」として、「つかむ・考える」「書く・たしかめる」「ふり返る」「生かす・広げる」となっている。</p> <p>③第4学年では、理科や社会科など他教科でのノートのまとめ方や学習内容のまとめ方などを示している。</p> <p>④第5学年では、世界の言葉が記載されている。</p> <p>⑤第6学年では、「六年間で学習したこと」として、6年間の学習のまとめを載せている。</p>	<p>①第1・2学年では、「しょしゃのすたーとぶっく」として、文字を書く姿勢や鉛筆の持ち方を示している</p> <p>②第3学年では、「毛筆スタートブック」として「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」となっている。</p> <p>③第4学年では、「書写 広げたい」として、理科や国語などでのノートのまとめ方やリーフレットの書き方などを示している。</p> <p>④第5学年では、外国語の文字についての記載がされている。</p> <p>⑤第6学年では、「書写ブック」として、6年間の学習のまとめを載せている。</p> <p>⑥第4学年では、「SDGsブック」があり、書写の学習の中から、考えていくようになっている。</p>
2 構成・分量	<p>①書写の学び方の流れが「①見つけよう」「②たしかめよう」「③生かそう」「④ふりかえろう」「⑤生活に広げよう」と記載されている。</p> <p>②巻末には、これまで学習してきたことが「書写のかぎ (学しゅうすること)」として掲載されている。</p> <p>③整った文字を書くために、「しせい・もち方」「点画の書き方」「書くときの動き」「字形」「筆記具・用紙」「配列」と6学年を通して一つ一つ積み上げていく構成になっている。</p>	<p>①第2学年は、書写の学び方の流れが「①つかむ」「②考える」「③たしかめる」「④ふりかえる」と記載されている。第3学年以上は、書写の学び方の流れが「①つかむ・考える」「②確かめる」「③ふり返る」「④生かす・広げる」と記載されている。</p> <p>②巻末には、これまで学習してきたことが、「学習のまとめ」として掲載されている。</p>	<p>①第3学年以上は、書写の学び方の流れが「①考えよう」「②確かめよう」「③生かそう」と掲載されている。</p> <p>②巻末には、これまで学習してきたことが「〇年生のまとめ」として掲載されている。</p> <p>③第4学年には、SDGsブック (4ページ) が付いている。</p>
3 表記・表現	<p>①第1学年の巻頭「がっこうにはどんなもじがあるかな」には教室にある身近なイラストの中から、文字を探し出すようになっている。</p> <p>②「かきやすいもちかた」には、児童の左右の実物大の手の写真が掲載されており、左右の鉛筆の持ち方が両方同じ大きさを示されている。なお、左右の持ち方は二次元コードを読み取ることで見ることができるようになっている。</p> <p>③第1・2学年の巻末には、水書用紙が付いており、自由に練習できるようになっている。</p> <p>④全体的に文字・マスが多く、イラストは小さめである。</p>	<p>①第1学年の巻頭「みつけてみよう」には学校にある身近な写真の中から、文字を探し出すようになっている。</p> <p>②「えんぴつのもちかた」には児童の左右の手がイラストで掲載されており左右の鉛筆の持ち方が示されている。ただし左手の方は、小さく記載されている。なお、左右の持ち方は二次元コードを読み取ることで見ることができるようになっている。</p> <p>③第1・2学年巻末には、水書用紙が付いており、「とめ、はね、はらい」が練習できるようになっている。</p> <p>④全体的に文字のなぞりが多く、空マスが少なめである。</p>	<p>①第1学年の巻頭「もじたんけんたい」には、教室や学校にある身近な写真から、文字を探し出すようになっている。</p> <p>②「えんぴつのもちかた」には、児童の右手の実物大の写真が掲載されており、右手の鉛筆の持ち方が示されている。左手の持ち方の写真等はない。左右の持ち方は二次元コードを読み取ることで見ることができるようになっている。</p> <p>③第1・2学年の巻末には、水書用紙が付いており、十字マスにひらがなやカタカナが練習できるようになっている。</p> <p>④全体的にマスの数はやや少なく、イラストが大きめである。</p>
4 使用上の便宜	<p>①毛筆の単語1つにつき二次元コードによる書くポイントの動画が付いている。1つの動画につき1つの視点による解説となっている。</p> <p>②毛筆を使った学習のポイントの動画が10点ある。(置き方、持ち方、片付け方など)</p> <p>③書写で学んだことを他の学習で生かす項目 (原稿用紙、手紙、はがき、リーフレット、ポスター) がある。</p> <p>④鉛筆の持ち方の写真、左利きもある。</p> <p>⑤動画一覧表から選べる。</p>	<p>①毛筆の単語1つにつき二次元コードによる書くポイントの動画が付いている。1つの動画につき1つの視点によるもので解説はなし。</p> <p>②筆のほぐし方、墨のふくませ方の動画がある。</p> <p>③書写で学んだことを他の学習で生かす項目 (はがき、原稿用紙、手紙、発表資料、作品カード、メモ) がある。</p> <p>④鉛筆の持ち方のイラスト、左利きもある。</p>	<p>①毛筆の単語1つにつき二次元コードによる書くポイントの動画が付いている。1つの動画につき真上からと斜め横からの2つの視点による解説となっている。</p> <p>②毛筆を使った学習のポイントの動画が9点ある。(持ち方、腕の使い方、用具の片付けなど)</p> <p>③書写で学んだことを他の学習で生かす項目 (原稿用紙、手紙、はがき、新聞、ポスター) がある。</p> <p>④書写体操が掲載されている。鉛筆の持ち方が写真とイラストで掲載されている。</p>